

# 学研 おんがく通信

Web版も  
お楽しみ  
♪バックナンバーが  
閲覧できる!  
♪ウェブならではの  
情報が満載!

2月号

2013  
年  
1  
月  
25  
日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく .net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

コタツミカン。幼い頃の私はいつもコタツで寝てしまい、『風邪ひくから布団で寝なさい!』と母から叱られていたのですが、そんな母がテレビを付けたままコタツで寝ていたことがあって、その姿が子ども心に何とも弱々しく感じられて、せつなくなった記憶があります。ちなみに、父はコタツでイビキをかいて寝ている時に、母がテレビを消すと、『観てのに!』と文句を言うのが常でした。(さ)

## 究極の名盤を聴く② ショパン ワルツ集



23人の音楽評論家を選んだ究極の名盤ガイド『クラシック CD エッセンシャル・ガイド 150』をもとに、歴史に残るピアノ曲の名盤をご紹介します。コーナーの第2回目です。ヴィルトゥオーソたちの個性が顕著に現れる作曲家の筆頭といえば、ショパンではないでしょうか。皆さんは、誰が弾くワルツがお好きですか？

### 名盤 BEST 5

- 1. ディヌ・リパッティ (1950年)**  
[TOGE12023(SACD), TOCE14026 / MONO / EMIミュージックジャパン]
- 2. サンソン・フランソワ (1963年)**  
[TOGE12032(SACD), TOCE14124 / EMIミュージックジャパン]
- 3. マリア・ジョアン・ピリス (1984年)**  
[WPCS22215 / ワーナーミュージックジャパン]
- 4. アルトゥール・ルービンシュタイン (1963年)**  
[SICC30056(Blu-spec CD) / ソニーミュージック、BVCC37669 / Ariola Japan]
- 5. クラウディオ・アラウ (1979年)**  
[4785154 / Decca Virtuoso 輸入]
- 5. エフゲニー・キーン (1993年)**  
[BVCC37241 / RCA 輸入]
- 5. アルフレッド・コルトー (1934年)**  
[TOCE3561 / MONO / EMIミュージックジャパン]

輸入 (輸入) 廃盤 (廃)



**ディヌ・リパッティ Dinu Lipatti [1917-1950 (ルーマニア)]**

若き巨匠として絶大な名声を得ながら、白血病に侵されわずか33歳でこの世を去ったリパッティ。ショパンの名手としても、デリケートで洒落な表現をもって心の裏まで沁みわたる数々の名演を残しています。14のワルツはリパッティの感覚と論理に基づいた独特の配列で演奏され、それは一篇の物語を語っているようです。

#### 〈リパッティの曲順〉

第4番 Op.34-3《華麗なる円舞曲》／第5番 Op.42／第6番 Op.64-1《小犬》／第9番 Op.69-1《別れ》／第7番 Op.64-2／第11番 Op.70-1／第10番 Op.69-2／第14番《遺作》／第3番 Op.34-2《華麗なる円舞曲》／第8番 Op.64-3／第12番 Op.70-2／第13番 Op.70-3／第1番 Op.18《華麗なる大円舞曲》／第2番 Op.34-1《華麗なる円舞曲》



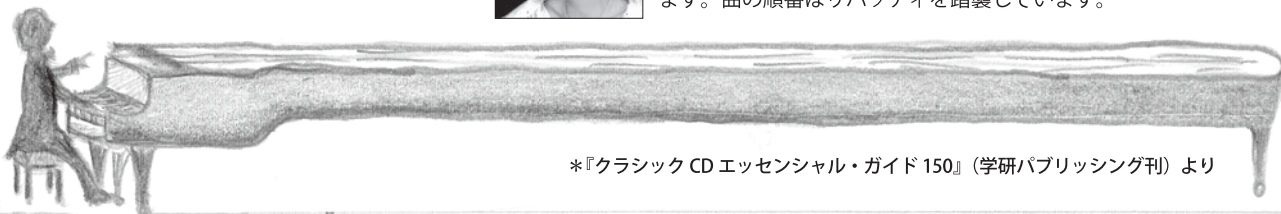
**サンソン・フランソワ Samson François [1924-1970 (フランス)]**

豊かなインスピレーションと即興性に溢れたフランソワのショパンは、そのどれもが歴史的名演といっても過言ではありません。テンポの急緩、ルバートをを用いた揺れ、低音部の強調など、まさに自由奔放な演奏に知らず知らずのうちに惹きこまれていきます。



**マリア・ジョアン・ピリス Maria João Pires [1944- (ポルトガル)]**

「真珠色の音色」と、作品を深く掘り下げ、繊細で情感豊かな演奏が魅力のピリスですが、このワルツ集は、生気に富み弾力性に溢れた、若い時代のピリスによるもので、聴いたあと清々しい気分させられます。曲の順番はリパッティを踏襲しています。



\*『クラシック CD エッセンシャル・ガイド 150』(学研パブリッシング刊)より



## びあめどリーむ 情報



「びあめどリーむ」シリーズ発刊20周年を記念して制作した「びあめどリーむお試し版楽譜」。前回、簡単にご紹介させていただいたとおり、「テキスト」「ワークブック」「レパートリー」を1冊で手軽に体験できる小冊子です。もちろん無料! 「びあめどリーむ」シリーズの体系や

カリキュラムを多くの皆さまに気軽に体験していただきたい、と一同熱意を込めて制作にあたりました。

「びあめどリーむ」シリーズは、1つのレベルに3種類以上の教材があります。3冊揃えて検討する…。けっこうなボリューム感ですね。どうしても検討をためられる事も多いのではないのでしょうか。

そこでこの小冊子、「びあめどリーむ」のシリーズの中でも、とりわけお使いいただいている方が多い第3巻の「テキスト」から学習要素を抜粋し、その箇所に対応する「ワークブック」と「レパートリー」の、効果的な併用ができるページを続けて掲載し1冊にしてみました。実際に何回かのレッスンでお使いいただける内容です!

ぜひこの機会に、「びあめどリーむ」の世界と、田丸信明先生の理念を存分に体感してください。(か)

# 2月20日は(1929~1997) 黛敏郎のお誕生日!



いまも放送されている長寿音楽番組の「題名のない音楽会」で30年以上にわたって司会をつとめた作曲家 黛敏郎の名前は、まだ多くの人が記憶にとどめているのではないのでしょうか。しかしながら、黛敏郎がかつて時代の寵児といってもいいほどのスター作曲家であったことを知っている人は、いまや数少なくなったようです。

1929年生まれ、1951年に東京音楽学校(現・東京藝術大学)を卒業すると同時にパリに留学しますが、たった1年で帰国してしまいます。異国で伝統的な音楽アカデリズムに埋没するのではなく、日本でテープ音楽・電子音楽などの当時の前衛音楽の旗手として創作活動を始めたのです。おりしも、テレビが普及する前の映画産業がはなばなしの隆盛期で、映画音楽の依頼が文字通り殺到し、その主題歌などポピュラーな音楽にも才能を発揮します。女優の桂木洋子と結婚し、時の人のような派手なイメージを確立。そして、日本人作曲家ならではの金字塔的作品、「涅槃交響曲」や「BUGAKU」が生まれるのです。

現在では日本を代表する作曲家としての知名度で黛をしのぐ武満徹は、そのころ作曲家を志してはいたものの、黛とは対照的にまだ無名で、食うや食わずの生活を強いられていました。

自宅にはピアノもなく作曲をするのに不自由していたところ、突然自宅に1台のピアノが届けられたといいます。送り主は黛敏郎で、武満の不如意を聞き及んで、ちょうど使わないピアノがあったので譲ったということらしく、ちょっとした美談のように伝えられています。そのスピネットピアノを、武満は名作「ノヴェンバー・ステップス」までの13年間作曲に用いて、その後も生涯手放すことはなかったのです。

1996年の2月20日の黛の誕生日に武満は亡くなります。武満の葬儀の弔辞で、黛はあるメロディーをくりかえし口ずさみました。武満が若いころ黛の映画音楽作曲の助手をしていたときに使われなかった秘蔵の旋律を、「悲しみの表現の極致」としてそこで公開したのです。そのメロディーには、谷川俊太郎の詞が付されて「MI・YO・TA」というタイトルで、多くの人に歌われています。(え)



♪フェリックス・メンデルスゾーン  
(ドイツ/作曲家/1809.2.3生)

♪クラウド・アラウ  
(アメリカ/ピアニスト/1903.2.6生)

♪フョードル・チャリャピン  
(ロシア/バス歌手/1873.2.13生)

♪ルイジ・ボッケリーニ  
(スペイン/チェリスト、作曲家/1743.2.19生)

## 今月のあかね先生



今月は千葉、長野、静岡の3県でセミナーが開催される予定です。

「たくさんの方とお話できる機会は本当に貴重♪」(あかね先生談)  
あかね先生も楽しみにされています。(いも)

### \*今月のセミナースケジュール\*

- 1/29(火): [千葉県/松戸]伊藤楽器ヤマハピアノシティ松戸店  
『子どもが飽きないリズムのレッスン<全2回>-導入編-』
- 2/1(金): [長野県/長野]ホクト文化ホール  
『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』
- 2/6(水): [静岡県/浜松]島村楽器プレ葉ウォーク浜北店  
『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』
- 2/22(金): [静岡県/掛川]掛川市 美惑ホール  
『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』
- 2/26(火): [千葉県/松戸]伊藤楽器ヤマハピアノシティ松戸店  
『子どもが飽きないリズムのレッスン<全2回>-発展編-』

## ★シルバークエストのための“カンタン”映画音楽★

編著:一般社団法人 日本作編曲家協会(JCAA)

服部克久、三枝成彰、渡辺俊幸…日本を代表する作編曲家たちによる、シルバークエストのための簡単アレンジ・ピアノ曲集のご紹介です!原曲の美しい響きはそのままで、バイエル上級程度から弾けるようアレンジ。またアレンジした本人の演奏アドバイスも掲載しています。

### ▼「シルバークエスト」へのこだわり

「大人」より「シルバークエスト」の方が、なんとなく高齢なイメージがありますよね…。ですが、この「シルバークエスト」には譲れない思いがあるのです。例えば、こじやれたバーにあるグランドピアノで、美しい名曲をさらっと弾く…そして醸し出される、色気やムードは、この世代にしか出せないものなのかもしれません。そんな思いが込められ副題に「シルバークエストのための」と付けられました。服部克久の言葉に、<団塊世代のお父さま、お母さま方! ちょっとがんばって練習すれば、楽しく弾けるのです!「私が弾いたらあの素敵な想い出が崩れしまわないだろうか……」そんなふうに思わずに、あなたのお好きな曲から、まずはチャレンジしてみませんか?>とあります。是非大人の生徒さんのレッスンでも、取り上げてみてくださいね♪(の)



第2弾!! 2月上旬発売!!

## 思い出のお客さま

あれはケイタイもメールも普及していなかった15年ほど前のこと。お客さまのご意見やご感想を直接うかがいたい、『おんがくドリル』や『ぴあのどリーむ』などの楽譜に“アンケート葉書”を入れた事がありました。

この葉書、送っていたのにお客さまに切手を貼っていただかなくてはならない、という不十分なものにもかかわらず、実にたくさんのご意見をお寄せいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、頂戴した葉書には、はっと目を開かされるご意見や指摘が数多くあったばかりでなく、ご質問が書かれているものもありました。そんな中に、小学生の女の子からの『「おんがくドリル」についておしえてください』と可愛い字で書かれた葉書がありました。

何だか微笑ましくて、嬉しくて、張り切って回答を差し上げたら、彼女の通っているピアノのお教室で「この葉書に切手を貼って送ると返事がもらえる」と噂になってしまったようで、お友達から続々と葉書が…。やがて当のお教室の先生から事情を説明するお詫びのお手紙を頂戴してしまい、逆に申し訳なく感じたものです。メールにケイタイ、便利な世の中になりましたが、ふと、あの時のお嬢さん達はまだピアノを好きなのかなあ、などとほろ苦さとともに思い出したりするのです。(か)

\*頂戴した葉書は、編集上の貴重な資料としてのみ使わせていただき、それ以外の販売・営業目的では一切使用しておりません。また、個人情報保護の観点から厳重に管理させていただいております。

## つむりの練習手帳

最近つむりが、やたら拍子がかかる変わる“ゼンエイテキ”(ってママが言ってた)な曲をひくようになったなあ…って思ってたんだけど、昨日レッスンに行った後、ふてくされながら練習してたおんなじメロディーは、ごくフツの「プレ・インヴェンション」の曲でした。つむりのヤツ、楽ふが読めないと、1拍の長さをテキーに長くしたり短くしたりしちゃうから、いっくら「4分の4拍子は4分おんぶがおへやに4つ!」とか言ってもヘンにひけちゃうんだね。ビックリした。(トホホお兄)

### つむり現在の楽譜 (コンクールにチャレンジ中!!)

- ☆こどものハノン ① (学研パブリッシング)
- ☆プレ・インヴェンション (全音楽譜出版社)
- ☆キックオフ! (音楽之友社)
- ☆こどものソナチネ1 (学研パブリッシング)

糸桶集部のつむりってー!

譚詩曲…、諧謔曲…、狂詩曲…、鎮魂曲…、どれも好きですが、最近バハの通走曲やモーツァルトの嬉遊曲をよく聴いています。(@く)

Twitter: @gakken\_music

日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!